



国際会長主題	「輝かそう、あなたの光を」	Ulrik Lauridsen (デンマーク)
アジア太平洋地域会長主題	「新しい時代とともに、エレガントに変化を」	Chen Ming Chen (台湾)
東日本区理事主題	「未来に向けて今すぐ行動しよう」	佐藤重良 (甲府21)
東新部部長主題	「All 東新部、始動! Change! 2022 ラストスパート、ポスト2022 始動」	深尾香子 (東京多摩みなみ)
クラブ会長主題	「心を尽くしてYMCAのために」	小川圭一 (東京世田谷)

会長 小川 圭一
副会長
書記

2023年3月会報

強調テーマ

* C S/ Green Project *
ワイズメネット

会計 小原 武夫
直前会長 峰 毅
担当主事 江尻 明子

↑今月の聖句

すると、イエスは五つのパンと二匹の魚を取り、
天を仰いで、それらのために賛美の祈りを唱え、
裂いて弟子たちに渡しては群衆に配らせた。
すべての人が食べて満腹した。
そして、残ったパンの屑を集めると、
十二籠もあった。
新約聖書ルカによる福音書 9:16- 17

(神谷幸男 選)

- | | |
|--------------------------|--|
| 司会 | 三浦 功雄 君 |
| 1. 開会点鐘 | 東京西クラブ 高嶋美知子 会長 |
| 2. ワイズソングと信条 | 一同 |
| 3. ゲストとビジター紹介 | 高嶋美知子 会長
小川 圭一 会長 |
| 4. 今月の聖句朗読 | 東京西クラブ 神谷 幸男 君 |
| 5. 会食と歓談 | 一同 |
| 6. 「風と共に去りぬ」読んだことがありますか? | 東京外国語大学名誉教授 荒 このみ 氏 |
| 7. ハッピーバースデー | 3/18 渡邊 実帆さん
3/30 小原 武夫 君
3/21 吉田 明弘 君
3/31 大野 貞次 君 |
| 8. 結婚記念日 | 3/2 小原 武夫 夫妻
3/26 寺門 文雄 夫妻 |
| 9. ニコニコ献金 | |
| 10. 諸報告 | |
| 11. 閉会点鐘 | 小川 圭一 会長 |

☀ 3月例会プログラム

とき 令和5年3月16日(木) 18:30~20:30
ところ ウェルファーム杉並 4階
電話 03-5335-7318

2月のデータ	会員在籍	13名	例会出席者 2月17日(金) 会員 11名 メネット 0名 イキャップ 0名 ゲスト 3名 ビジター(含むzoom) 3名 合計 17名	2月のBF他献金 切手 0g 現金 0円 累計切手 0g	ニコニコファンド 2月 4,100円 年度計 49,281円
	出席率	84%			
第2例会 2月23日 YMCAすずらん会 深尾部長訪問		2022~2023年度 自主献金については 今期もクラブからの 献金としました			

本日のメインプログラム

3月は東京西クラブとの合同例会です。
開催場所は以下となります、ご注意ください。

ウエルファーム杉並・集会室 4階

杉並区天沼3-19-16

03-5335-7330

● 歩いて8分

● バスに乗って5分

JR中央線、東京メトロ丸の内線 荻窪駅下車
北口バスターミナルの青梅街道沿い、バス発着所、
「中村橋」または「練馬」行きに乗り、
3つめの「ウエルファーム杉並」下車
進行方向に1分歩き右側。

※ 2月例会報告



1月7日の在京ワイズ合同新年会、運営を強力にサポートして下さったのが liby の皆さんでした。おかげさまでイベントは大成功。応援している liby に応援してもらいました。その皆さんに感想、そして、liby の状況をお話いただきました。

◎ 在京ワイズ合同新年会 お手伝いで

liby のリーダー4名がボランティアとして参加できた。リーダーの2人は中国籍とアメリカ籍、今年から関わっている。ワイズの方々やYMCA スタッフなど多くの皆様とお会いできたこと、演奏者のDVD販売では、liby の活動と異なる体験ができ、貴重な機会となりました。

◎liby 経堂に移転して、

大掃除をし、リーダーを集め、地域のリソース掘り起し、はや数か月が。

liby の変化

○移転に伴い3名の退会がありましたが、2月までに新たに4名の登録がありました

○新たに登録したメンバーは16歳から18歳で、liby の

年齢層も少しずつ若年層に動き始めた

○新たに加わったメンバーは徐々に慣れ居場所となっている

○これまで来ていたメンバーもゲームのルールを説明したり、話を盛り上げたり 変わってきている

liby の二つの主な活動

○日常の居場所「liby」

平日の13時から18時に開催 いつ来てもいい場所
ボードゲームをしたり料理を作ったりして過ごしている

(カードゲーム、麻雀、たこ焼きパーティーなどで)

○休日の余暇活動「en × joy」

土・日に活動、年8回の開催 申し込みが必要
まち散策やテーマパークに

◎ 外部とのつながり

● アップス縁日 (希望丘青少年センター)

● ボランティアフォーラム (東京ボランティアセンター)

● 地域懇談会 (希望丘青少年センター)

● ガレージセール

● 夏の宿題大作戦

● ACRC 体験会

「Amazon Cyber Robotics Challenge」を活用し、
プログラミングの基礎を学びます。

「論理的思考力」「問題解決能力」「発想力、想像力」
のプログラミング的思考能力を身に着けることを
目標とします。

担当スタッフ 押山 愛紀子 (セサミ) さんに状況をお話いただき、高橋 一浩 (ろべりー) 君には簡略にまとめを。リーダーのダッフィー君は大学3年生 (1・2年はリモート授業) liby 参加により、多くの方々との交わりは貴重な体験となった。

江尻館長より、

今後の liby 活動について、

次年度へ向け、課題を認識し、色々な人々が集う空間に。トルコ・シリア地震への支援も、YMCA 同盟と連携して、対応を。東日本大震災・支援資金の残金を充てることも。



卓話者紹介

『風と共に去りぬ』を読んだことはありますか？
映画は何度も見たけれど、という方々が多いと思います。
ハリウッド映画はヴィヴィアン・リーとクラーク・ゲイブルという美男美女の適役の役者を迎えて大成功しました。映画好きの作者マーガレット・ミッチェルも気に入ったようです。

それでも映画では、1037 頁の原作の内容や作者の思惑の10分の1も表現することはできませんでした。ラブ・ロマンスを中心にした映画では描き出されなかった、この作品の本当の意味はどこにあるのでしょうか。ミッチェルはこの大作で、「アメリカン・サーガ」、アメリカの叙事詩、アメリカの物語を創りだしたのです。

荒 このみ 氏 略歴

東京外国語大学名誉教授。文学（博士）。

主要著書『風と共に去りぬ アメリカン・サーガの光と影』
岩波書店

『歌姫あるいは闘士 ジョセフィン・ベイカー』
講談社

『マルコム X 人権への闘い』岩波新書

主要訳書 マーガレット・ミッチェル『風と共に去りぬ』
全6巻 岩波文庫

レスリー・マーモン・シルコウ『儀式』講談社文芸文庫

※ YMCA すずらん会

2月23日（天皇誕生日）2：00～3：30

経堂緑岡教会において、深尾部長、今井次期部長、伊藤書記の訪問を受け、21名の参加者とともに、伊藤書記のオカリナ演奏を交えての歌声の一時を。



※ 春・YMCA 保育園ねがい

園庭の球根と苗は寒さの中、春を待ってすくすく育っています。パンジーの花びらがケーキのトッピングになったり、小さな芽を不思議そうに見つめる子どものまなざしに生きるエネルギーを感じています。



クロッカス 可愛い花を開いて

親子でガーデニングを楽しむ日も間も無くでしょうか、ノースポール、ジュリアンが出番を待っています。

※ 東京 YMCA 日本語学院

スピーチコンテスト

2023年2月10日 10：00～13：00

東京 YMCA 社会体育保健専門学校 2階 演習室にて

中級 代表者スピーチ（3人）

出身：ベトナム、台湾、インドからの方々

上級 代表者スピーチ（4人）

出身：ミャンマー、ベトナム、中国からの方々
みんな緊張していましたが、堂々と発表できていました。

東京世田谷ワイズメンズ賞は

ヴォ ティ ヒユエン チャンさん

（ベトナム・ドンホイ）が「失敗は本当に失敗ですか」中級の部で、世田谷賞を獲得されました。

小川会長から渡される賞状と商品、笑顔が素晴らしいですよ。詳細は、以下の URL でご覧ください。

<http://tokyo.ymca.or.jp/japanese>

※ 会長通信 2303

ワイズ年度の第3コーナーが終わり来月から最終コーナーです。

今年度、YMCAの現場の様子を伺う事を通して、ワイズが出来る事を考えようとしています。小さなことに心を込めていきたいものです。

個人的には、今期難病を得ました。いずれそのうちに・・・という考えは通用しないのです。「心を尽くしてYMCAのために」との、主題を掲げて、出来る人が出来る事を出来る時に動いて参りましょう。

☀ YMCA NEWS

1. 1月28日、「第17回子育て講演会」がオンラインで開催され、講師の大豆生田啓友氏（玉川大学教育学部教授）より「いまどきの子育てで大切なこと～幸せ子育てのコツ」をテーマにお話しを伺った。子育て中の保護者を中心に約200名が参加し、好評であった。子育て講演会実行委員会（会員有志）が企画・運営を担い、25の企業・団体より協賛をいただいた。
2. いじめのない世界を目指すキャンペーン「ピンクシャツデー」が今年は2月22日に設定され、全国のYMCAで様々な取り組みがなされた。東京YMCAでは高等学院でワークショップを企画した他、各部署で教職員や園児・学生たちがピンク色の服を着るなどアピールをした。
3. liby チャリティーコンサート
3月11日に在日韓国YMCAにあるYホールにてチャリティーコンサートが実施された。
ありのままにいられる子どもたちの居場所を支援するためのコンサート、今年で第24回を迎えた。
たんぼぼYサービスクラブ、三菱商事の協力があり、当日は70名を超える観客の方がお越しになり、素敵な歌声と楽器の音色を楽しむ時間を過ごした。
越智京子さんも一時退院をされて当日は会場にお見えになり、開会のあいさつをされ、libyへの熱い想いをお伝えいただいた。多くの人とのつながりと支えの中でこのコンサートを無事に終えられたことを感謝している。

今後の主な行事日程

- ・3月26日より、スキーキャンプ、ふじさんを散歩するキャンプが実施される。年長から中高生まで、180名の子どもたちがこの春のキャンプに参加をする。
- ・「第32回チャリティーゴルフ大会」 4月13日
会場：PGM総成ゴルフクラブ
- ・「東日本地区YMCA役員研修会」 4月15日
オンライン
講師：寺島実郎氏
(一般財団法人日本総合研究所会長／多摩大学学長)
- ・「第20回会員大会」5月27日
会場：山手センター（予定）

東京都渋谷区にある「ワタリウム美術館」をご存じだろうか。内外の現代アート作品を展示する新設美術館だ。今週の月曜、13日にこの場所でチャリティー寄席が開かれた。トルコ南部で発生した大地震の義援金を集めるために浄財は在日トルコ大使館に届けられた。

▼企画したのは、同美術館の和多利月子さん。先日、当欄で山田寅次郎という実業家を紹介した。1890年に和歌山沖で起きたオスマン帝国（現トルコ）の軍艦エルトゥールル号海難事故の犠牲者を悼み、義援金を集めに奔走した快男児である。和多利さんは寅次郎の孫なのだ。13日は、くしくも彼の没後66年の命日だった。

▼上方落語の人気者、三代目桂春蝶さんが一肌脱いだ。披露してくれた演目は、創作落語「約束の海 エルトゥールル号物語」だ。地元住民の献身的な救出、看護活動など、史実を踏まえてた笑いあり、涙ありの人情噺をたっぷり聞かせてくれた。ハンカチでそっと目頭を押さえる人も。明治の歴史ドラマの余韻に浸っていた。

▼寅次郎の伝記によると、彼は日本におけるチャリティーの先駆者だ。トルコへの寄付金を募るため、東京で落語や講談、奇術などの講演会を開催したという。今回の地震の犠牲者は隣国シリアを含め4万人を超えた。「祖父の思いを継ぎ、私たちの祈りを届けたい」。孫娘は会場であいさつした。家族に歴史あり、である。

日経新聞 春秋 2023.2.17

トルコ・シリア大地震 緊急支援募金

ご協力いただけるクラブ、個人の皆さまは以下の 東日本区の口座へお振込みください

● ゆうちょ銀行振り込み取扱票にて振込

ゆうちょ銀行：00110-0-362981

● 他の銀行から

ゆうちょ銀行019支店 当座 0362981

(注) 振込者 氏名欄に「トルコ」と記載を

*日本YMCA同盟のトルコ・シリア大地震・緊急支援募金

についてのウェブサイト

<https://www.ymcajapan.org/topics/20230222-2/>